

東京経済大学大学院 経営学研究科 入学試験 (2026年度 2期入試)

課 程	修士課程
入試区分	一般入試・留学生入試
試験科目	専門科目（経営学）
出題意図	修士課程で学ぶべき経営学の専門分野（経営学）に関する学士レベルの専門的な知識を修得していること、および、それ等の知識に基づく基礎的な理解力・創造力を問う問題である。
解答例	<p>解答例を公開することは、受験生を特定の解答に誘導し 筆記内容が画一的になる恐れがあり、筆記試験が意図する知識・思考力・表現力・創造力等の把握を困難にするため、解答のポイント（採点基準）のみを公表しております。</p> <p><解答のポイント（採点基準）></p> <p>『大学院募集要覧』記載の「参考文献」を念頭に置き、主に以下の点を評価対象とする。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 設問の内容を把握できていること。(2) 専門分野（経営学）に関する学士レベルの専門的な知識を、上記「参考文献」の学習を通じて、修得できていること。(3) 上記「参考文献」で学習した知識と設問との関係性を明確に認識できていること。(4) 設問に対して論理的・創造的に解答できていること。(5) 上記の諸点を無理なく読み取れる文章を作成できていること。

※ 公開している入試問題等について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

大学院経営学研究科・修士課程

入学選考試験問題
(1科目・2題:試験時間90分)
【10:00～11:30】

2026年 2月16日実施
東京経済大学大学院
経営学研究科

【経営学】 ※ 以下の問題1・問題2の両方とも解答しなさい

問題1については問題1の解答用紙を、問題2については問題2の解答用紙を、必ず使用のこと。

問題1 以下の問1、問2の中から、いずれか1つを選択して答えなさい。

問1 ポーターによる3つの基本戦略について、以下の(1)(2)の設問に答えなさい。

- (1) 差別化集中戦略を採用している企業の特徴を、実際の企業を例に挙げて答えなさい。
- (2) ライバル企業が差別化によって価格以外の優位性で競争を仕掛けてきた際に、コスト・リーダーシップ戦略を続けてきた企業のリスクについて答えなさい。

問2 多角化戦略について、以下の(1)(2)(3)の設問に答えなさい。

- (1) アンゾフは企業成長のための製品市場戦略を4つの類型に分類している。4つの類型のうち、多角化以外の3つの戦略を答えなさい。
- (2) 企業が多角化戦略を採用する理由を答えなさい。
- (3) 既存事業と新規事業間にあるシナジー効果を持つ企業が、シナジー効果のない新規事業を始める企業に対して有利性を持つ理由を答えなさい。

問題2 以下の問1、問2、問3の中から、いずれか1つを選択して答えなさい。

問1 モチベーション研究における期待理論について、以下の(1)(2)の設問に答えなさい。

- (1) 期待理論の概要について説明しなさい。
- (2) ローラーの期待モデルについて説明しなさい。

問2 日本的経営研究における3つのアプローチについて、以下の(1)～(3)の設問に答えなさい。

- (1) 文化的アプローチの内容について説明しなさい。
- (2) 制度的アプローチの内容について説明しなさい。
- (3) 機能的アプローチの内容について説明しなさい。

問3 株式会社の基本的特質を3つ挙げ、それぞれの内容について説明しなさい。